

■■■新年あけましておめでとうございます。■■■

◆スタッフから新年のご挨拶

新しい年を迎える度、よい年になることを願います。

今年は、KFCがうまれる契機となった阪神淡路大震災から10年、なにかより一層その思いを強く持ちます。

新しい年、KFCは、新しい人たちを迎え、新たな事業としてデイサービスセンター「ハナの会」を開設することになります。その開設日は1月11日、あえてあわせた訳ではないのですが、「ハナの会」の「ハナ」のハングルの意味である（1：イチ）が並ぶ日になりました。

震災から10年、KFCはハナ（いち）から新しいことをはじめることになります。しかし、そのハナは10年の蓄積のある一歩です。未来に向かってしっかりとその一歩を踏み出したいと思います。（理事長 金宣吉）

震災から10年を迎えましたが後遺症はまだまだ残っています。

完全に修復されるまでいっそう頑張りましょう。そして、震災後に生まれた新しい動きを守り、育てましょう。

（副理事長 中村通宏）

セボック マーニ パドゥシップシヨ。

新年明けましておめでとうございます。

旧年中はKFCの事業に対し多方面に亘るご支援を頂き感謝申し上げます。

本年は新たにデイサービス事業をスタートさせます。

私もスタッフ一同と共に、心新たな気持ちで頑張っていきたいと思っております。

皆様には、より一層のご支援ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

皆様方のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

（理事 李圭燮）

明けましておめでとうございます。今年はデイサービスセンターの開所からの幕開けですね。その他にも、新しいプロジェクトがスタートしそうです。悩み苦しみながらも、一歩ずつ前に足を踏み出さずにはられない、愛すべきKFCを、私に出来る形でこれからも支えていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

（理事 野崎志帆）

KFCも法人になり、今年からデイサービスセンターも設立されました。なお、一層のKFCの活動の充実のために頑張りますので、今年もよろしくお願いいたします。

（理事 吉井正明）

新年明けまして、おめでとうございます。

出合って、つながって、ひろがって！

人と人の関わり合いが三段跳びのようなテンポで響く、そんな心地よい街づくりが今年も出来ればいいな。と願っています。

この街のオリジナルなリズムを、今年は私たちKFCが大きく打ち出します。ディサービス「ハナの会」には独特の響きが期待できます。皆様には、力強いバックコーラスのご協力をよろしくお願い申し上げます。（理事 森崎清登）

あけましておめでとうございます。今年は希望と不安がいっぱいの門出となります。支援する側にもされる側にもKFCに関わってきてくださった方たちを裏切らない、本当にいい活動ができるように、前だけを向いてひたむきに走っていきます。今年もKFCを応援してください。（理事・事務局長 横山雅子）

新年おめでとうございます！2005年、世界の動きがどうであれ？KFC日本語プロジェクトは神戸の日本語支援グループの使命を果たしていきたくて考えています。今年度は学習支援の活動にも取り組む予定をしています。我々のより一層の活躍が期待されているはず？？どうぞ宜しくお願いします。私達公私 共々良き年でありますように。

（奥優伽子）

明けましておめでとうございます。

昨年は地域の商店街の方たち等との交流の場を持つことができ、ほんとうに少しずつですが、外国人住民への理解を深めていただけたのではないかと思います。

今年も地域のマジョリティとマイノリティのパイプ役として、少しでもKFCで役割が果たせるよう頑張りますので、ご支援よろしく お願いいたします。（志岐良子）

■■■日本語プロジェクト■■■

◆クリスマス会

12月17日（金）、若松地域福祉センターで、クリスマス会が行われました。今年の参加は約30名と、昨年に比べると少なかったものの、子ども達の参加もあってにぎやかなものに。司会進行を担当してくれたのはグループ レッスン・Cクラスのみなさん。パーティー好きなクラスとの噂通り（！）、息の合ったところを見せてくれました。

18時スタートとあって、自己紹介のあとは、すぐにディナータイム。テーブルの上には、持ち寄った料理やお菓子がたくさん並んでいます。手作りが多く、学習者のみなさんから、カザフスタンの焼き菓子や挽肉入りのベトナムのお餅、タイのパパイヤサラダなど、エキゾチックな料理が。その隣には、炊き込みご飯やスイートポテト、そしてアツアツのたこ焼きとおなじみの味が並び、KFCらしいにぎやかな食卓となりました。

ゲームでは、大人も子どもも大はしゃぎ。途中で、フィンランドから（？）サンタクロースさんが駆けつけるなど、大いに盛り上がりました。特に商品がもらえるビンゴ大会はみんな必死。サンタクロースさんがラストのプレゼントを当て、学習者の方に譲ってあげるという一幕もありました。

司会をしてくれた学習者のファン・チーさんは「楽しかった。（サンタの帽子をかぶったのが）ちょっと恥ずかしかったけど」と感想を。学習者・金聖美さんと一緒に参加した支援者・濱野徳子さんは「金さんに知り合いが増えて欲しいと思って来ました。楽しかったです。」と話していました。今回は、日本語ボランティア養成講座の受講者の参加もありました。

普段、なかなか会う機会のない、ほかのKFCのメンバーたち。よりよいボランティアのため

にも、楽しく交流できる機会を、今後 も持つことができればと思っています。

(K F Cニュース係 宗圓由佳)

◆個人レッスン支援者インタビュー

今回は、支援歴が今年で8年になる、大石正 弘さんにお聞きしました。

(聞き手 K F Cニュース係 宗圓由佳)

—大石さんは、ずいぶん長い間、K F Cで日本語の支援をされていますよね。

大石 1997年の春からK F Cで支援をしています。今はマンツーマンですが、最初は2～3人を相手に教えていました。

—今はどんな方を支援されているのですが？

大石 ブラジルから来た、志賀イヴァネさんという女性です。中級レベルなので、私の言うことは一通りわかってくれるし、日常生活でも困 ることはないようです。

—では、今はどんなことを学習しているんですか？

大石 中級レベルのテキストを終えてからは、彼女の希望で漢字の練習をしています。テキストは「新日本語の基礎 漢字練習帳」。2カ月半で、約100個の漢字を教えました。

—すごいですね。

大石 ええ。とても熱心な方で、授業で使った フラッシュカードを貸してほしいと頼まれたこともあります。

—授業で大変なことはありますか？

大石 そうですねえ…。イヴァネさんのように 中級レベルになると、概念など、抽象的な言葉が出てくるので、それを説明するのは大変ですね。そういうときは、簡単な言葉に置き換えたりして、説明していますが。

—学習面以外で、なにか大変だったことはありますか？

大石 学習者に、日常生活について相談された ときかな。できる範囲でアドバイスしますが…、プライベートにどこまで入り込むべきかは 難しいですね。

コロンビアで日本語を教えたことも

—ところで、大石さんが日本語教育に関わろうと思ったきっかけは何なのでしょう？

大石 歳を取ってから、何か人の役に立つことをしようと思ったんです。そこで日本語教師養成コースを受講し、学校のプログラムで、コロンビアにも行きました。

—そこで日本語を教えていたんですか？

大石 ええ。国立コロンビア大学の外国語センターで、学生や一般の方向けの、日本語コースのお手伝いをしていました。

—大石さんが、南米からの学習者を主に支援 しているのは、そのためなんですね。

大石 スペイン語は忘れましたがね（笑）。でも単語は分かるから、それは便利です。

—8年間も続けられた秘訣は何でしょうか？

大石 できる範囲でやっていますから。大変 だと思っていたら、やめていると思います。のん気に、マイペースでやってるから、ストレスもたまらないんでしょうね。

◆忘年交流昼食会

12月11日(土)、日本語プロジェクトの忘年交流昼食会が、連絡会の後、行われました。KFC側の準備してくださった、おにぎりの具材が色とりどりでとてもかわいい「おにぎり弁当」。多種様々なお菓子。ソフトドリンクもバラエティに富み、新発売という抹茶カルピスなどもテーブルにならび、昼食会が始まりました。

師走も半ばになろうというのに、ぽかぽかの小春日和。天候にもおべんとうにも誘われ、口も軽やかに、心の中まで温まる楽しい会話に花が咲きました。支援者同士顔を会わすことが少なく、お顔とお名前が一致しないというような状況で、何を話せばよいか等、案じていたのが嘘のようで、食事をしながら、お互いの支援する学習者のことや、教え方、授業中のハプニング等々と話が盛り上がりました。後半は日本語ボランティア養成講座の講師をしてくださっている斎藤先生も参加して下さり、教授法、発音指導、学習者に応じた支援の仕方など、斎藤先生に質問攻めの有意義な時を過ごしました。(先生には、ゆっくり食事をしていただく時間も差し上げず、申し訳ないことをいたしました。)

同じ志をもち、日本語学習支援というボランティアに拘わる者同士、よりよい支援を行うためにも、このような機会を増やして、横の繋がりを密なものにし、お互いに協力し、助け合っていくことも必要なのではないかと、充実した昼食会を終えて実感した次第です。(神木妙子)

◆研修会報告

11月13日新長田勤労市民センターで「日本語支援のためのレベルチェック②」の研修会を斎藤明子講師を迎えて行いました。学習者といかにも普通の会話を楽しんでいるようにしながら、レベルチェックをするという研修でした。参加者11名。役に立つ研修会にどしどしご参加ください。

◆講座報告

11月27日より「日本語ボランティア養成講座(初級コース)」が参加者44名で始まりました。第一回目は京都女子大学短期大学部の岩槻知也助教授に日本語ボランティアの経験を踏まえて、その留意点や楽しみ、大変さを話してもらいました。

第二回目からは神戸YWCA学院専門学校の斎藤明子講師による本格的で具体的な日本語教授法です。2月まで10回コースの長丁場ですが、新しい日本語ボランティアの方が数多く誕生しますように、学習者、スタッフ、運営陣、くじけずにがんばりましょう。

◆2005年度KFC日本語Pニュース係より

「新年好!!こんなことやったらいいのに、こんなサポートがあったらいいのに、ニュースページに対する意見を募集しています。本年もどうぞ宜しくお願い!」

(ニュース係のメンバー)

◆連絡事項

日本語P研修会2月12日(土) 13:30~15:00 於: デイサービスセンターハナの会
「兵庫の日本語ボランティア(予定)」

講師: 長嶋昭親(兵庫ボランティアネットワーク代表)

■■■ KFCハナの会 ■■■

◆デイサービスセンター ハナの会 スタッフ紹介

新たに始まるデイサービスセンターの“管理者”（聞こえはよくありませんが法令どおりの名称で）として携わることとなりました。管理者とは名ばかりで「ほんまにぼくで工工んかなあ、、、」という不安がなくもありません。

しかし前言は撤回します。もうすぐそこまで、ご利用者の方々の通所が迫っているのです。大袈裟ではなく、生命と向き合う仕事として「工工んかなあ」などとの中途半端な気持ちでできるものではないと考えます。

わたしの憧れでもあるハルモニたちと過ごす場への、みなさまのご協力を心よりお願い申し上げます。（大和田信行）

私は30年あまり病院でお仕事をしてきましたが、このたび皆様のお仲間に入れて頂くこととなりました。

一番に嬉しくまた心強く思うことがあります。それは前の病院で命と健康と暮らしをまもるために一緒に運動や活動をして頑張った仲間であり、また患者さんであった人たちがおられ、またその人のそばでお仕事ができることです。

今までの経験を生かし、また他のスタッフの方たちと協力して利用者さんの健康と暮らしが守っていける事をと、また生きていて良かったと少しでも思えるような環境作りができるように努力をして行きたいと思えます。（筧しげみ）

昨年の10月より、KFCの活動に参加しました。ニューフェイスです。宜しく願いいたします。

長田区にある医療機関で40年間看護業務に従事してきましたが、1月末に定年退職しました。今後は、これまで培ってきた経験が生かせる活動としたい参加させていただくことにしました。

ここに来れば昔馴染みの人達と楽しく集え、大声で笑い活力も湧いてくるそんな楽しいデイサービスに出来たらと思っています。運動しすぎたり、はしゃぎすぎたときは大丈夫！私が付いています。健康チェック任せて下さい。皆様のご参加お待ちしております。（築谷綾子）

デイサービスセンターハナの会では、食事を手作りだと考えています。韓国、朝鮮料理を中心に、いろいろな国の料理が楽しめたらいいなと思っています。オープニングまでに、研修にも行きました。事業所によって、やり方はまちまちで、ボランティアの人達がたくさん手伝いに入って作っている所、また少人数で機械的な手の動きでもって、作り上げている所、専門の調理師さんにお任せしている所、研修に行く度、これもいいな、あれもいいなと迷うことも多かったです。デイサービスセンターハナの会は、新しく出発する訳で、何でも出来ると思っています。利用者さんと相談しながら、楽しみを見つけていけたらなあと思っています。（金美吏）

今回ハナの会のスタッフとして働ける事を喜ばしく思っております。デイサービスを利用していただいた方にゆったりとした時間と場所を提供することが出来るように、自分自身もゆとりを持って行動したいと思えます。

利用者の方、ご家族の方たちと信頼関係を深め、より良いケアをしていけるように心がけていきたいです。皆様ご指導の程、宜しく願いいたします。（丁由紀子）

昨年まで、兵庫区のデイサービスで相談員兼介護員として働いていました。ハナの会でも相談員兼介護員と言うより、何でも屋な気持ちで、皆さんと楽しく過ごせたらと思っています。ハナの会の方達は元気な方が多いと聞いてます。わいわいがやがや散歩したり、おやつを作ったり、

そうそう是非チャンゴは 教えていただきたいです。いろんな楽しい時と一緒に過ごせたらと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。（鈴木育子）

◆デイサービスセンター ハナの会の概要

開設日：2005年1月11日（火）

施設区分：介護保険法に基く通所介護事業所

所在地：神戸市長田区若松町4-2-5アスタピア新長田エスタガーデン203

定員：20名/日

利用日：月曜日～金曜日

利用時間：9：30～16：30（送迎時間は含まない）

サービス内容：

- 韓国・朝鮮料理の提供
- 民族性に配慮したリハビリテーション（レクリエーション）の提供
- 入浴の提供
- 長田区中心とした広域な送迎の実施
- 韓国・朝鮮語のできるスタッフの配置

これまでの「KFCハナの会」の昼食会は、デイサービス実施に伴い、火曜日から土曜日に、場所はデイサービスセンターに変更となります。

1月～3月の開催日は以下の通りです。

1月22日（土）、2月5日（土）、2月19日（土）、3月5日（土）、3月19日（土）

12:00～14:00（10時から開けています）

■■■ 今後の予定 ■■■

■日本語プロジェクト支援者のための連絡会

2月12日（土）13:30～15:00

3月12日（土）13:30～15:00

■介護問題相談会

1月22日（土）14:00～16:00

於 デイサービスセンターハナの会

■KFCハナの会昼食会

（*火曜日から土曜日に変更になりました）

1月22日（土）、2月5日（土）、2月19日（土）、3月5日（土）、3月19日（土）12:00～14:00

（10時から開けています）

於 デイサービスセンターハナの会

[前のページに戻る](#)